

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	木の香園自立支援センター
住所	大川市大字下林433-1
電話番号	0944-88-8234

事業所番号	4012500171
管理者名	井手 道代
対象年度	令4年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 子育て支援総合施設「モッカランド」内モッカフェ
大川市大字上巻384

実施日程 2022年4月1日～2023年3月31日(火曜日を除く)143日 9:00～15:00

実施した生産活動 カフェ運営(日替わりランチ・お子様ランチ・お惣菜・スイーツ)

利用者数 総数136名

<活動の様子>



<目的>

地域連携活動のねらい

カフェの売り上げ向上はもちろんであるが、社会的な貢献ということを念頭において実施している。地域との繋がりを持つことで、利用者の就労意欲向上や経済的な自立を支援し、地域生活の維持・実現を目的としている。

<成果>

食事を提供するカフェ運営だけでなく、誰もが気軽に集まり、ひとりの人として接する中で、子育て中の保護者の方や地域の高齢者や障がい者への理解が深まり、偏見をなくし、「優しさ、思いやり」を自然に学べる場にしたと考えています。施設利用者様から「ごちそうさま」と声をかけられることで仕事の意欲が高まっている。このようなコミュニケーションが生まれることで主体性や仕事への責任感が高まり自信の向上につながっている。施設外に出ることで緊張感が高まり、社会交流につながっている。

<課題>

- ・目標の食数まで達成していない事があげられるため、さらなる売上アップのための取組が必要
- ・メニューの検討を行い集客客が増えるような取り組みをおこなう。
- ・コロナ禍により集客制限があり感染防止対策を講じながら運営を行う。

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

モッカランドは、妊娠期から子育て期までの子どもと家庭を支援する、地域における子育て支援の拠点として令和3年10月にオープンしました。オープン以来、「モッカフェ」では、日替わりランチやお惣菜、ドリンク類など、工夫を凝らしながらおいしいメニューを提供いただいております。施設内で、ほっとしていただける空間として、子育て世代に限らず、地域の方々に楽しんでいただいております。また、インスタグラムの配信もされ、わざわざ食事のために訪れていただく方も増えております。小さな施設内での営業ですので、大きく売り上げを伸ばすのは難しいと思いますが、障害を持つ方が能力を発揮され、地域の方と交流していただける場となるよう、今後も期待しています。

今後の連携強化に向けた課題

日替わりランチがメインであるため、どうしても昼時が混雑します。お弁当以外にも、スイーツやパン、ドリンク等、すぐに提供できるメニューや利用者の選択の幅が広がるものを工夫いただけると嬉しいです。

連携先企業名	子育て支援総合施設「モッカランド」	担当者名	施設長 古賀 章子
--------	-------------------	------	-----------

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	木の香園自立支援センター	事業所番号	4012500171
住所	大川市大字下林433-1	管理者名	井手 道代
電話番号	0944-88-8234	対象年度	令4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 企業内給食の提供(タンスのゲン株式会社) 大川市大字下林310-5</p> <p>実施日程 2022年11月1日～2023年3月31日(土日、祝日を除く)143日 9:00～15:00</p> <p>実施した生産活動 ランチ(日替わりランチA/B・サラダバー)</p> <p>利用者数 総数136名</p>	<p><活動の様子></p>     
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい</p> <p>売り上げ向上はもちろんであるが、当法人の基本理念の基、地域社会で共に暮らせるように社会的な貢献ということを念頭において実施している。</p> <p>地域との繋がりを持つことで、利用者の就労意欲向上や経済的な自立を支援し、地域生活の維持・実現を目的としている。</p>	
<p><成果></p> <p>食事を提供する企業内給食だけでなく、社員様の健康増進が図れることです。</p> <p>ランチで提供することで、社員の満足度も得られやすく、仕事にも専念しやすくなります。</p> <p>ランチの提供により、心身共に健康的で、仕事への意欲や集中力、パフォーマンスも高くなるでしょう。</p> <p>社員様から「ごちそうさま」と声をかけられることで仕事の意欲が高まっている。</p> <p>このようなコミュニケーションが生まれることで主体性や仕事への責任感が高まり自信の向上につながっている。施設外に出ることで緊張感が高まり、社会交流につながっている。</p> <p><課題></p> <p>・メニューの検討を行い社員様の満足度を向上できるような取り組みをおこなう。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

弊社タンスのゲン株式会社では、社員の福利厚生の一環として、昼食を提供しておりました。連携までは弊社が雇用したスタッフが調理をする形を取って居りましたが、特に若い社員が多い弊社では、栄養バランスや食育の需要も高まっておりました。その中で毎月の献立を栄養バランスを考えた上で、提供していただいておりますので、大変感謝しております。スタッフの皆様も、社員の顔を覚えていただき、コミュニケーションを取っていただいておりますので、特に不自由を感じることはありません。

今後の連携強化に向けた課題

どうしても若い社員の嗜好と栄養バランスがマッチせず、魚より肉といった要望を上げることが多く、申し訳ないと思います。しかしながら、今後はどちらも満たせる食事の提供しむための試行錯誤にご協力いただければ幸いです。

連携先企業名	タンスのゲン株式会社	担当者名	吉村振一郎
--------	------------	------	-------